

ふくしまの家

復興住宅供給の仕組みづくり

芝浦工業大学名誉教授
日本建築士会連合会 副会長 アルセッド建築研究所代表

三井所 清典

土木部 9月補正予算

被災者の生活再建に向けた住まいづくりを支援します

事業の目的

被災者が良質で低価格な木造住宅をスピーディに取得できるよう、県内の林業、製材業、工務店、設計事務所等が連携した「ふくしまらしい住まいづくり」を支援します。

事業の概要

①福島県独自の住宅供給システムの構築

県内の林業・製材業・工務店・設計事務所等が連携し、材料調達から設計・施工まで一元管理することにより、良質な住宅を低価格でスピーディに供給できるシステムをつくります。

②モデル住宅プランの作成

低価格で高齢者にやさしい、省エネルギー性や長寿命化にも配慮した具体的なモデル住宅プランをいくつか作成します。



被災者が良質で低価格な木造住宅をスピーディに取得！

県内企業連携により建設した
木造住宅の事例



<外観>



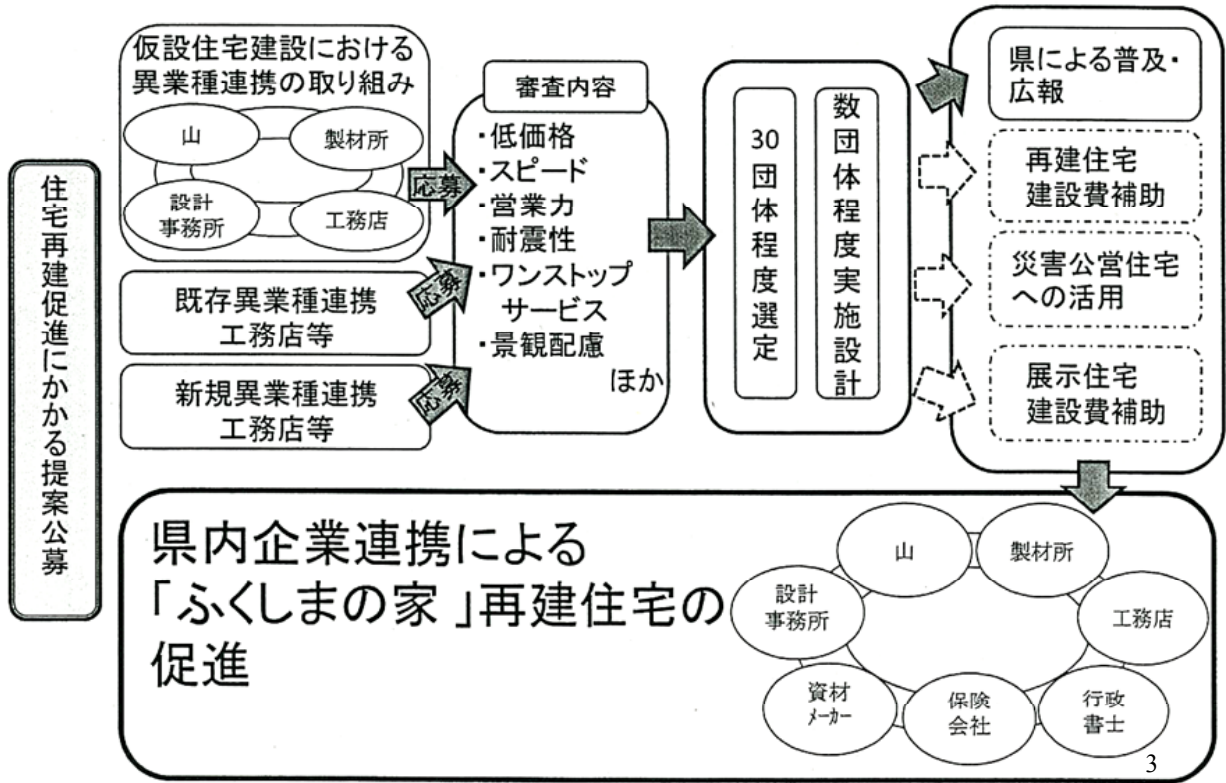
<内部>

※この資料に関する問い合わせ先：建築指導課 主幹 斎藤（電話024-521-7522 県庁内線3667）

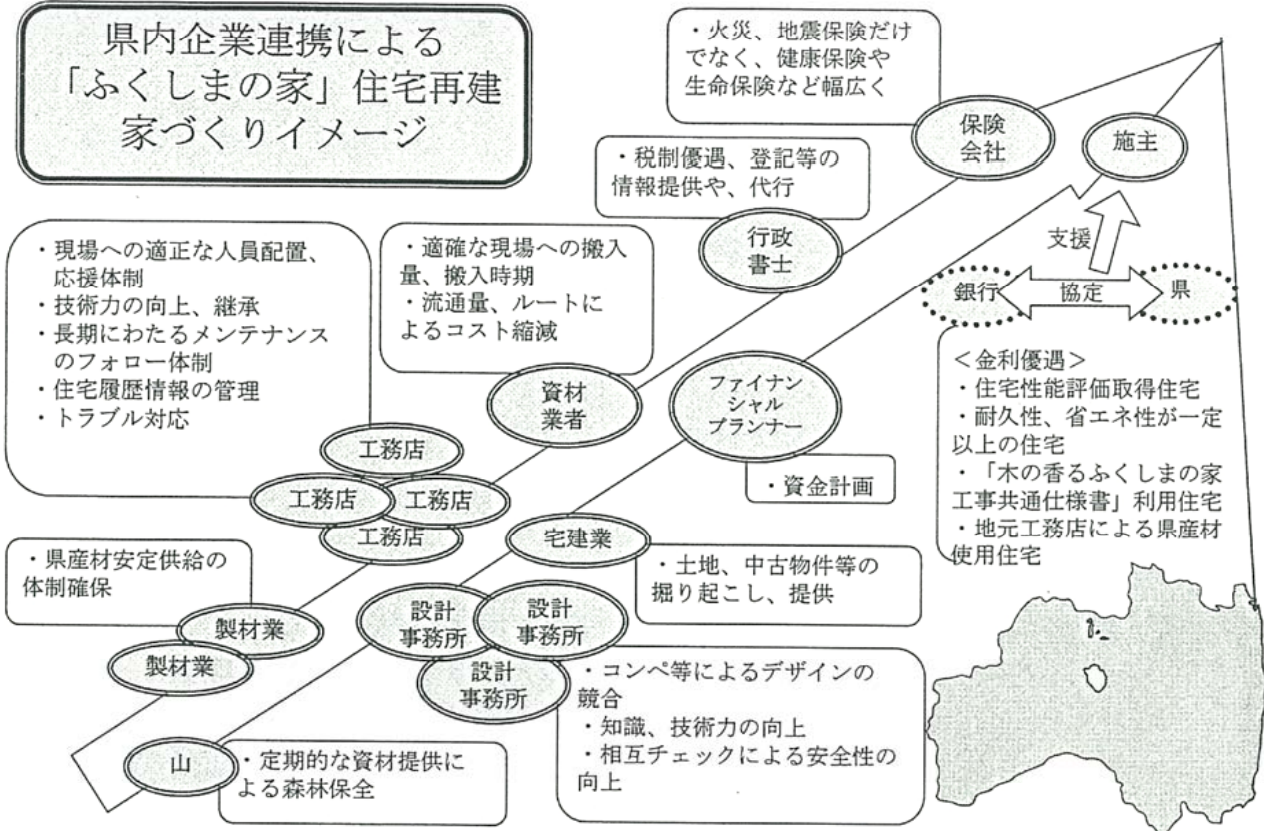
福島県土木部

(新)「ふくしまの家」住宅再建促進事業

※ [] 内は、今後の検討事業です。



県内企業連携による「ふくしまの家」住宅再建家づくりイメージ



申込先：福島県土木部建築指導課民間建築担当 宮谷 宛て（添書不要）
 FAX：024-521-7955
 住所：〒960-8670 福島市杉妻町2-16

「ふくしまの家」復興住宅供給システム プロポーザル説明会申込書

出席者

	氏名	会社名	連絡先 TEL	主な業種 表下より番号 を選択して ください	希望会場 ○を付けて ください	備考
1					・福島12/9 ・郡山12/12 ・会津若松12/13	
2					・福島12/9 ・郡山12/12 ・会津若松12/13	
3					・福島12/9 ・郡山12/12 ・会津若松12/13	
4					・福島12/9 ・郡山12/12 ・会津若松12/13	
5					・福島12/9 ・郡山12/12 ・会津若松12/13	

注1：定員になり次第、他会場へ変更をお願いする場合がありますのでご了承ください。
 注2：本プロポーザル業務は委託にて行うため、委託先が決まり次第、参加希望者の申込書について委託先へ引き継ぐことについてご了承ください。

※ 主な業種一覧

1 建築設計	11 行政（市町村）
2 施工	12 民間建築確認検査機関
3 林業	13 金融機関
4 製材業	14 建築業界団体
5 資材メーカー	15 教育・研究
6 宅建業	16 学生
7 行政書士	17 その他
8 保険会社	()
9 銀行	
10 住宅建設予定者（建て主）	

「ふくしまの家」復興住宅供給システム プロポーザル説明会のご案内

福島県土木部建築指導課

■ 開催の趣旨

今回の東日本大震災において、本県では約18,000種の住家が全壊の被害を受けました。被災者の生活再建のためには、その基盤となる住宅を一日も早く復旧することは最も重要な課題であり、県内の事業者が連携して課題解決に取り組むことが、ふくしまの真の復興につながることを考えます。
 また、本県の応急仮設住宅の建設においては、県内事業者による約6,000戸の未造成仮設住宅が、限られたコストと工期の中で県産材を活用して建設され、県内の林業と建設業の活性化を促進することができ、さらに、居住性の面からも大変良い評判を受けております。
 そこで、住まいづくりをとおして、被災者の生活再建と住宅関連産業の復興を実現するため、県内事業者の連携による復興住宅供給システムを募集し、その住まいづくりを広く県民に広報することとなりましたので、多くの連携団体の皆様からの提案をお願いします。
 つきましては、プロポーザル説明会を開催しますので、ご参加ください。

■ プロポーザル説明会 開催地・日時・会場・定員

開催地	日時	会場	定員
福島市	12月9日（金） 9:30～12:00	福島県青少年会館 大研修室 （福島市黒岩字田部屋53番5号）	180名
郡山市	12月12日（月） 13:30～15:30	福島県農業総合センター 多目的ホール （郡山市日和田町高倉字下中道116番地）	140名
会津若松市	12月13日（火） 13:30～15:30	会津大学M10講義室 （会津若松市一箕町鶴賀）	80名

■ 説明会内容（案）

- 開会あいさつ
- 事業概要説明
 - ・事業目的
 - ・事業スケジュール
 - ・プロポーザル業務委託先の紹介
- プロポーザル募集要領説明

○講話（福島会場のみ） テーマ 「地域産業の連携による 住宅供給システムの必要性」	株式会社アルセッド建築研究所 代表取締役 所長 三井所 清典 氏 【略歴】 東京大学 大学院 工学系研究科 建築学専攻 博士課程修了 芝罘工業大学名誉教授 株式会社アルセッド建築研究所 代表取締役 所長 新潟中越地震における郡山志村の地元産業連携による地域の 特色を活かした復興住宅に貢献
--	---

- 質疑応答
- 閉会

■ 申込み方法・締切

別紙「申込書」に必要事項を記入のうえ、各会場開催日前日までに、FAXまたは郵送してください。

■ 申込み、問い合わせ先

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 福島県建築指導課民間建築担当 副主任建築技師 宮谷（ミヤタ）
 TEL：024-521-7529 FAX:024-521-7955

■ その他

本プロポーザル業務は委託にて行うため、委託先が決まり次第、参加希望者の申込書についても委託先へ引き継ぐことについてご了承ください。



夏の虫亀集落



冬の虫亀集落(3mの豪雪地帯)



古志の里Ⅱ 中條均紀写真集より

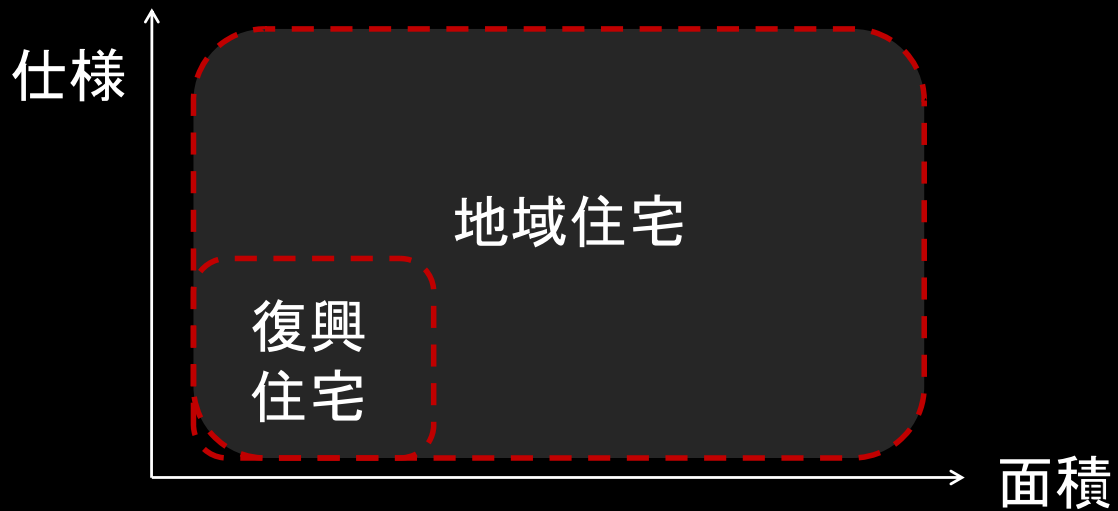
震災前の美しい檜木集落



山古志の棟梁とのワークショップ

基本姿勢

まず「山古志にふさわしい地域住宅のモデル」を山古志の大工と検討し、その中で最も小さく、最も安いものが約1千万円で建築できれば良い



2005年10月 震災一周年
山古志らしい住まいづくりの提案



2005年10月 自立再建モデル住宅の提案



2005年11月 集落の方々への発表(仮設住宅にて)



2005年11月 集落の方々への発表(仮設住宅にて)



2005年11月～2006年4月 山古志の大工への協力依頼



2005年11月～2006年4月 長岡建築協同組合の協力体制づくり



2005年11月～2006年4月 長岡の設計者の協力体制づくり



2005年11月～2006年4月 建材メーカーへの協力依頼



2006年10月～11月 モデル住宅の完成(2年目)



2006年10月～11月 モデル住宅の見学会




2006年10月～11月 モデル住宅の見学会



設計相談(モデル住宅にて)



工務店の紹介(山古志の家づくりを支援する施工者の会)

山古志 低床モデル	1250	山古志 高床モデル	1350
延べ面積 28坪 (約93㎡)	自己資金 511 万円	延べ面積 44坪 (約146㎡)	自己資金 611 万円
本体価格 約1250万円 (復興基金後: 約1070万円)		本体価格 約1350万円 (復興基金後: 約1170万円)	
			
	復興基金 180万円		復興基金 180万円
	義援金 459万円		義援金 459万円
	100万円 (県)		100万円 (県)

建設費用と自己資金

実現した中山間地型復興住宅



実現した中山間地型復興住宅の例



実現した中山間地型復興住宅の例



実現した中山間地型復興住宅の例



下見板により改修された住宅の例

公営住宅への展開

- ①集落ごとにきめ細かくつくる →お年寄りを見守る
- ②二戸一、戸建て主体 →将来払い下げ
- ③二戸一は、将来戸境壁を撤去し、戸建てにも



充実してきた菜園



二戸一は将来戸建てに改修可能(桂谷団地)

6 集落の集落再生の取り組み (集団移転での再生2 集落)



集団移転も小規模住宅地区改良事業を採用

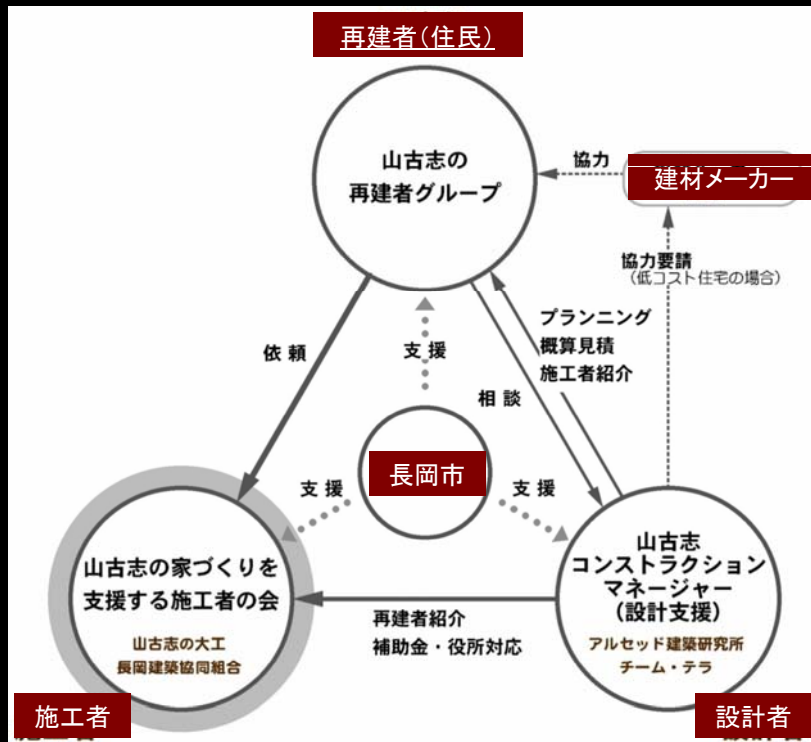


檜木集落 集団移転による丘上がり

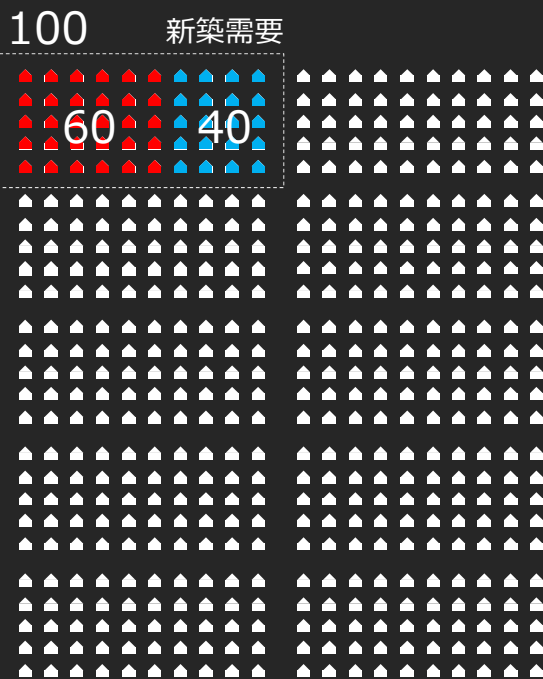


成長する住まい

■ 地元推進体制・被災地内外の建設支援体制の構築



◆ ある町で、年間約100戸の新築需要があったとします。



平常時の想定 100戸の住宅の内…

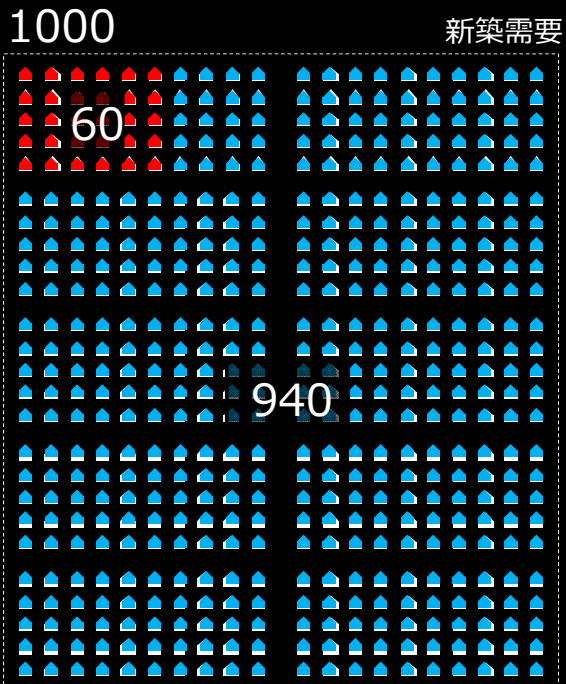
60戸

在来工法による地元の工務店の建設

40戸

プレファブ工法等による
その他の住宅供給者の建設

◆ 1000戸の復興住宅の供給が必要なまちを仮定します。



従来の供給方法では…

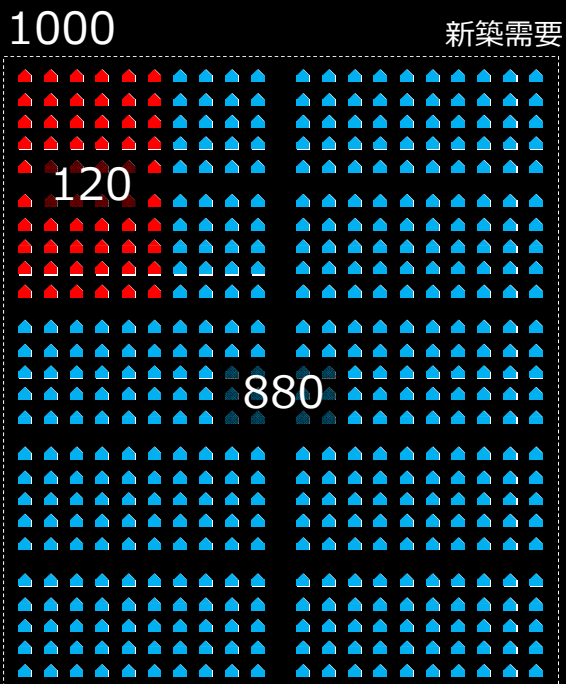
地元の工務店

60

その他ハウスメーカー等

940

◆ 1000戸の復興住宅の供給が必要なまちを仮定します



仮に2倍の供給努力をしたとして…

地元の工務店

60

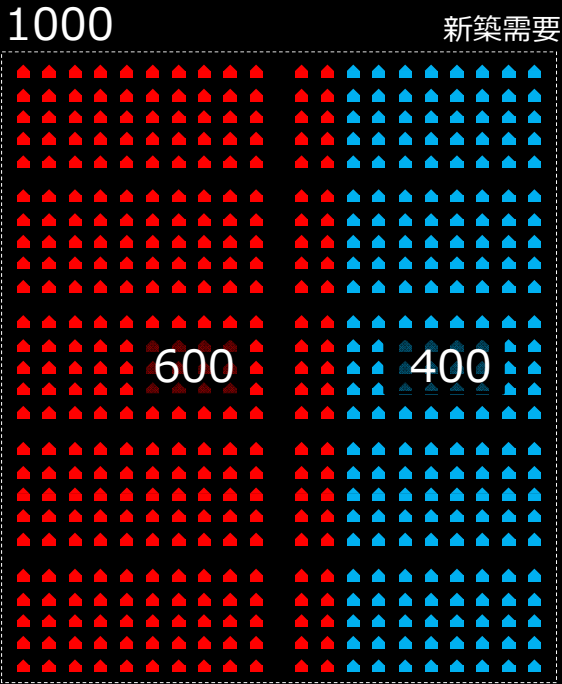
120

その他ハウスメーカー等

940

880

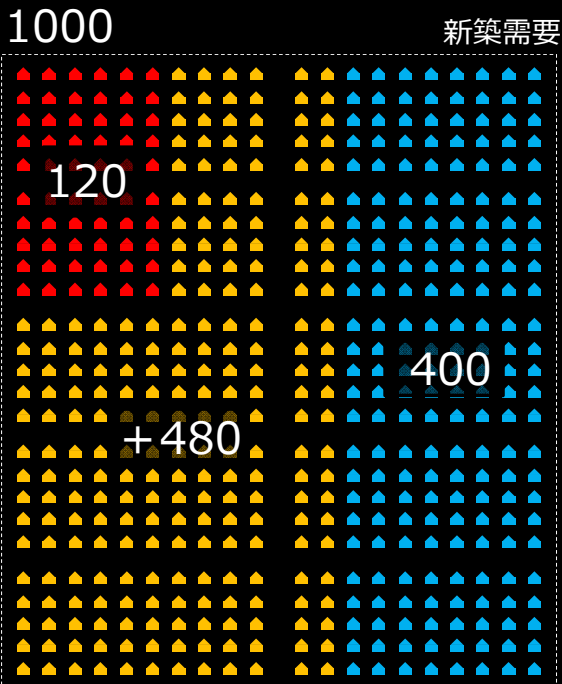
◆ 1000戸の復興住宅の供給が必要なまちを仮定します



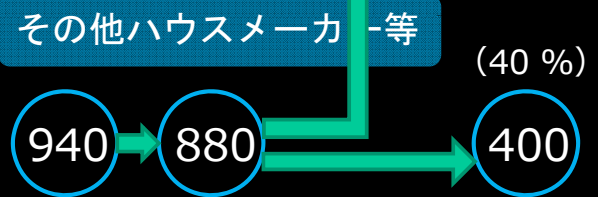
全体の6割を目指すのなら…



◆ 1000戸の復興住宅の供給が必要なまちを仮定します



全体の6割を目指すのなら…



安くて・早くて・良質な住宅の大量供給が必要

在来工法による合理的な生産システムが必要



建設関連異業種・同業種の連携

川上から川下まで・日常の競合相手とのグループ
づくり

地元と他地域との連携

地元が主体になり、外からの支援を受けるグループ
づくり

復興住宅が完成したら、
その後の需要はなくなってしまう・・・



どうしましょう

・
・
・

廃業の可能性も

仕事の継続・後継者の育成のために
出来た住宅の維持管理をしていくため
に



未完成の家づくり

小さくて、増築可能な成長する家

地域の生業の生態系の保全

持続可能な地域のものづくり

『ふくしまの家』のプロポーザル

参加表明は57団体

実際の応募者は56団体



福島県の広報対象団体：33団体を選定

ふくしまの家復興住宅供給システムプロポーザル広報対象団体 (上段19社はヒアリング要請者)

団体名	代表会社	代表者	生活圏地域	代表設計事務所	代表工務店	種業・木材事業委員会
会津産木材供給連絡会	会津若松地方森林組合	穴澤正男	会津若松	吉田建築計画事務所	小島建築センター	会津若松地方森林組合
ふくしま中央建設共同企業体	大原工務店	大原定雄	県中・東北	森建築設計事務所	大原工務店	田村森林組合
福島県建築士会福島支部	福島県建築士会福島支部	阿部良南	県北・相双	松本建設設計事務所	東洋工務店	千塚製材所
黄金津10K1倶楽部	佐久間建設工業	佐久間隆一	会津若松	什島建築設計事務所	佐久間建設工業	総木材
福島県木造技術開発協会	福島県木造技術開発協会	原隆武久	県中・県南	ワルデザイン	嵐山工務店	松岡材木店
安達太良匠の会	斉藤工務店	齋藤守司	県北・県中	齊藤一設計事務所	斉藤工務店	菅野建築材料所
福島復興再生住宅協会	芳賀沼製作	芳賀沼賢一	県中・いわき	はりゅうウッド	芳賀沼製作	赤井製材所
ふくしま森の遊学舎	榊川技建	榊川英知男	県中・いわき	Y.U.工務	榊川技建	ツネマツ
有限責任事業組合エフシーエム建築総合研究所	東日本マネジメント	三瓶久仁雄	県中・いわき	エーユーエム構造成造設計	センチウリーホーム	福島県郡山地区木材木工工業協会の協賛
地球と家族を考える会	地球と家族を考える会	嶋野健一	県中・県南	建築工房	福産建設	ツネマツ
ふくしまづくりネットワーク	川崎建築設計事務所	川崎直竹	県北・相双	川崎建築設計事務所	吉倉工務店	鈴木製材所
「安代」につながるネットワーク	佐藤工業	加藤真司	県北・いわき	阿部個人建築研	佐藤工業	福島県森林研究所(建築士事務所)
福島県建築士会喜多方支部喜多方圏活用推進協議会	喜井建設設計事務所	喜井浩一	喜多方	喜井建設設計事務所	喜井建設工業	加勢製材所
ふくしま再生建築実行委員会「くらし塾」	藤田建設工業	藤田光夫	県南・いわき	辺見美津男設計事務所	藤田建設工業	協和木材
福島県建築士会郡山支部	共立社	佐藤彰宏	県中・県南	渡邊茂建築設計事務所	光健工業	協和木材
ふくしま復興住宅「だん」推進グループ	渡辺組	渡辺弘	いわき	島根建築事務所	渡辺組	境口木材
みんなの「ふくしまの里」つくる会	はしもと住宅店	山田俊嗣	県中・県南	一色建築事務所	はしもと住宅店	協和木材
ふくしま復興エコハウジング	庄司建設工業	庄司公正	相双・県北	伊達な建築研究	庄司建設工業	藤勇産業
遠野産業復興事業協同推進協議会	遠野産業復興事業協同推進協議会	平子佳廣	いわき・相双	水山建築設計事務所	唐橋工務店	平子商店
福島ふるさとをいっしょにつくろう推進協議会	ユニゾン	園島賢	県南・県中	ユニゾン設計	ユニゾン	安藤製材所
ふくしま建築集団	遠藤和世吉建築設計事務所	遠藤和世吉	県北・県中	遠藤和世吉建築設計事務所	遠藤工務店	丸三木材
そうま復興住宅「ふくしまの家」建設グループ	草野建設	草野清貴	相双	荒設計事務所	草野建設	近藤材木店
いわき家ナビ	正木製材木店	大平宏之	いわき	吉田敬郎建築設計事務所	後田工務所	正木製材木店
南相馬市小高建設業協会	玉川建設工業	玉川敬	相双	相双建築設計事務所	小林建築事務所	相馬地方森林組合
三好住宅研究会	ワタシヨウ	渡邊正二	県中・県北	相双建築設計事務所	ワタシヨウ	ツルギ
そら・住まいのり	菅野建設	菅野日出香	県北・相双	設計組織アーク	菅野建設	丸とワーク
全相双福島(福島県建設労働組合連合会)	遠藤工務店	遠藤安男	いわき・相双	後藤建築設計事務所	遠藤工務店	シーエム設計企業
福島県建築士会青年委員会復興住宅プロジェクトチーム	大橋建設工業	大橋一浩	県南・県中	共立建築設計事務所	大橋建設工業	大橋建設工業
ファーストホーム復興住宅の会	ファーストホーム	水野谷秀幸	いわき・相双	三春設計事務所	ファーストホーム	田村森林組合
福島県住宅建設協会	悠二十一	瀧部伸	県中・県南	菅野野村建築設計事務所	悠二十一	田村森林組合
ふるさと福島復興70	武蔵工務店	武蔵武	県中・いわき	武蔵一級建築士事務所	武蔵工務店	田村森林組合
NPPO法人 南山匠の	丸惣建設	星聖司	相双・会津若松	丸惣建設一級建築士事務所	大橋工務店	日光木材
相双「ふくしまの家」をつくる要グループ	開場建設	開場啓	相双	杉木設計事務所	開場建設	杉内木材工業

←ヒアリング対象団体
19団体/33団体

←広報対象のみの団体
14団体/33団体

ふくしまの家復興住宅供給システムプロポーザル委託候補者

団体名	代表会社	代表者	主活動地域	代表設計事務所	代表工務店	林業・木材	概要
県建築士会福島支部	県建築士会福島支部	阿部良樹	県北・郡原	松本建築設計事務所	黒澤工務店	千葉製材所	子育て、地域コミュニティ、地域の気候、環境対応、災害に強いまちがコンセプト。モデルプランは高齢夫婦2人で1100万円、若い夫婦2人暮らしで1300万円
県会津10R1倶楽部	佐久間建設工業	佐久間謙一	会津若松・喜多方	什点建築設計事務所	佐久間建設工業	福木材	ふくしまの森林資源とグリーンエネルギーの恵みによる「ふくしま10R1生活」と「新倉の家」を提案
東進大匠匠の会	齊藤工務店	齊藤守司	県北・県中	武蔵第一設計事務所	齊藤工務店	菅野建築製材所	地元大工・工務店を中心に設計、製材所、資材、宅建業者が連携。家族と地域の共生をテーマとする
福島復興再生住宅協議会	芳賀沼製作	芳賀沼義一	県中・いわき	はりゆうウッドスタジオ	芳賀沼製作	赤井製材所	地元の中小建設者のネットワークを主とした団体による施工体制。「箱の家」を団体にロゴ、衣菜にも対応
エフシーエム建築総合研究所	東日本マネジメント	三枝久仁雄	県中・いわき	エーユーエム構造設計	センチュリーホーム	県部山地区木材木工工業団地協同組合	3D方式で、3D施工による住宅供給。夫婦2人、木造2階約90㎡(土間+1階)使用し長期優良ながらスケルトン760万円+インフィル340万円計1100万円建築
「次世代につながる家づくり」ネットワーク	佐藤工業	加藤真司	県北・いわき	阿部直人建築研究所1級建築士事務所	佐藤工業	県森林組合連合会	ワンルームに設備コアを集め、コアの位置によりスペースが決定するフレキシブルなプラン
ふくしま再生住宅業実行集団「くらし監」	藤田建設工業	藤田光夫	県南・いわき	辺見英洋建築設計室	藤田建設工業	協和木材	「茶の湯」の精神から、広すぎず狭すぎず9尺グリッドの立体を用いた家族構成にあわせた多用途な規格が可能。定尺化規格化による供給体制
遠野産業復興事業協同組合	遠野産業復興事業協同組合	平子佳典	いわき・福島	永山建築設計事務所	唐橋工務店	平子商店	家業との絆、想いが生まれる家づくり。地産地消。在来工法、漆喰・珪藻土使用、作りつけ家具も地元産材。和をイメージしたシンプルな切造り



ふくしまの家復興住宅プロボ

「本県の力」示した応募数

全国の住まいづくりモデルに

【二部既報】「ふくしまの家」復興住宅供給システムのプロボザルの2次審査は、19の団体が審査に臨み、1グループ10分で実施し、審査員からは地域の木工・工務店などのかわり、資材納入面だけでなく、木材業者の計画からの参加状況、放射線低減に関し土壌処理などの方法(福島復興再生住宅協会の「福島復興再生住宅協会の審査方法」が質問された)の審査が、審査員からは、審査員として入る審査員が一人一票で8点を選出し、うち4票を獲得した。7「ふくしま再生提案実行集団」(いわき)、11「次世代につながる家づくりネットワーク」(13(奥会津10R1倶楽部)、16(福島復興再生住宅協会)がまず確定した。獲得点が高い順に、2・4票のうちから推薦する各提案の審査ポイントについて、意見を申し立てた後、決選投票を行い、4票の4(東進大匠匠の会)、3票の14(遠野産業復興事業協同組合)、15(県建築士会福島支部)、17(エフシーエム建築総合研究所)が決定した。三井所請審査委員長は「56団体の応募があり33団体に絞り込んだが、この段階で福島にはすごい力があると審査員一同考えている。この事業は、復興住宅に限らず、全国の住まいづくりのモデルになる。福島のために、復興は成り立たないかもしれない。県内外の素晴らしい仲間を募り、大きな力を発揮し、取り組んでほしい」と語り、審査については「大変苦しい判断だったが今回の選出は実施設計のためのもの。33の応募団体に選出され、19のヒアリング対象に推した方々も、ぜひ復興住宅を実現してほしい」と述べた。

検討補助支援団体：8団体を選定



ふくしまの家復興住宅供給システムプロポーザル委託候補者

団体名	代表会社	代表者	主活動地域	代表設計事務所	代表工務店	林業・木材事業者	資材メーカー	宅建業者	総会社数／総業種数	年間供給戸数
県建築士会福島支部	県建築士会福島支部	阿部良樹	県北・相双	8社	10社	6社	4社	6社	43社/14業種	100棟
奥会津IORI倶楽部	佐久間建設工業	佐久間源一郎	会津若松・喜多方	7社	15社	8社	9社	2社	69社/29業種	—
安達太良匠の会	斉藤工匠店	齋藤守司	県北・県中	6社	13社	2社	6社	1社	28社/5業種	—
福島復興再生住宅協会	芳賀沼製作	芳賀沼一	県中・いわき	15社	28社	24社	13社	6社	183社/47業種	500棟
エフシーエム建築総合研究所	東日本メンテナンス	三瓶久仁雄	県中・いわき	14社	4社	6社	7社	5社	42社/10業種	600棟
「次世代につながる家づくり」	佐藤工業	加藤真司	県北・いわき	4社	22社	4社	5社	3社	41社/24業種	—
				3社	10社	7社	5社	1社	28社/7業種	—
				2社	5社	3社	0社	0社	65社/10業種	—

仮にこの3団体においては、

42工務店で 400棟 を建設

= 1工務店で 9.5棟 を建設

通常の約2倍の仕事量

検討候補支援団体：3団体を選定

400棟 (1団体当たり)

33団体の企業内容と供給戸数

団体名	設計事務所	工務店	林業・木材事業者	資材メーカー	宅建業者	総会社数／総業種数	実績供給戸数／年	予定供給戸数／年
会津産木材供給連絡会	12	14	19	1	2	44 / 6	211	194
ふくしま中央建設共同企業体	12	35	7	18	27	125 / 13	311	753
福島県建築士会福祉支部	8	10	6	4	6	43 / 14	—	100
奥会津IORI倶楽部	7	15	8	9	2	69 / 29	—	—
福島県木造技術開発協同組合	3	7	8	5	3	0 / 0	12	80
安達太良匠の会	6	13	2	6	1	28 / 5	—	—
福島復興再生住宅協会	15	28	24	13	6	183 / 47	360	500
福島森の遊学会	7	5	5	7	4	44 / 25	55	15
有限責任事業組合エフシーエム建築総合研究所	14	4	6	7	5	42 / 10	—	600
地球と家族を考える会	10	7	7	10	1	48 / 25	35	30
ふくしま家づくりネットワーク	8	4	3	1	0	16 / 4	7	20
「次世代につながる家づくり」ネットワーク	4	22	4	5	3	41 / 24	—	500
福島県建築士会喜多方支部喜多方蔵活用推進委員会	4	4	2	2	2	27 / 10	8	22
ふくしま再生提案実行集団「くらし塾」	3	10	7	4	3	28 / 7	15	20
福島県建設業協会郡山支部	9	10	3	5	4	31 / 5	70	200
ふくしま復興住宅「だん」推進グループ	6	5	6	4	3	55 / 17	—	—
みんなで「ふくしまの家」つくる会	10	19	9	4	6	51 / 8	100	82
ふくしま復興エコハウジング	3	3	2	4	3	14 / 10	10	5
遠野産業振興事業共同組合	2	5	3	0	0	65 / 10	—	—
福島ふるさとのいい家づくり推進協議会	5	9	4	17	4	76 / 24	60	45
ふくしま建築集団	2	3	2	0	2	12 / 7	24	30
そつま復興住宅「ふくしまの家」建設グループ	4	3	2	3	1	18 / 10	34	15
いわき家ナビ	6	22	1	1	1	34 / 5	100	100
南相馬市小高建設業建築協会	3	5	5	4	3	25 / 8	10	5
三春町住宅研究会	3	8	—	9	3	30 / 10	17	24
そら・住まいる・リターンズ	3	10	4	5	5	39 / 15	72	1
全建総連福島（福島県建設労働組合連合会）	5	17	17	1	4	4588※ / 75※	114	284
福島県建築士会青年委員会復興住宅プロジェクトチーム	4	6	4	5	3	32 / 13	31	75
ファーストホーム復興住宅の会	6	2	4	4	3	25 / 16	85	12
福島有料住宅建設教会	10	12	2	9	7	—	—	—
ふるさと福島復興POE外チーム	6	10	2	5	3	—	—	—
NPO法人 南山匠の会	3	17	2	1	1	—	—	—
相双「ふくしまの家」をつくる夢グループ	3	7	8	5	3	32 / 19	—	100
計	206	351	188	178	124	—	1964	4061
平均	6.2	10.6	5.9	5.5	3.8	42.6	79	140

実績と比較して
1.8倍の供給予定

33団体の企業内容と供給戸数

	設計事務所	工務店	林業・木材事業者	資材メーカー	宅建業者	総会社数/総業種数		予定供給戸数/年	実績供給戸数/年	比率
最大	15	35	19	18	27	183	47	360 (4588)	600 (75)	
最小	2	2	2	0 (1)	0 (2)	12	4	7	5	
延数	206	351	188	181	124	—	—	1974 (未記入8)	4060 (未記入4)	
平均	6.2	10.6	5.9	5.5	3.8社	42.6社	14社	79戸/団体	140棟/団体	1.8倍

復元力のある復興住宅づくり

<未完成の家> <成長する住まい>

地域型住宅ブランド化事業

長期優良住宅

- 資産価値の高い住宅ストックの形成
- 劣化・耐震・維持管理性、省エネ、バリアフリー
適正規模、景観形成など総合的な住宅性能

「200年住宅」

住宅のつくり手の仕組み

- 日常の競合相手とのグループづくり
(建設関連異業種連携)
- 地元が主体になり、外からの支援を受ける
グループづくり「川上から川下まで」

地域型住宅

- 気候・地形、景観との調和、生活・文化の特性を継承しながらつくる、質の高い居住空間整備

「地域適合型 (HOPE計画)」